



4/19 東山通り下矢原線開通式

# 大歳交流センターだより



No.98 平成29年5月号

発行 大歳地域交流センター

TEL 922-4035 FAX 922-4036

(行政窓口) TEL 922-2461

人数 13,414 世帯数 6,397

平成29年4月1日現在

## 東山通り下矢原線の一部開通について

平成22年度から整備を進めていました都市計画道路東山通り下矢原線の一部が4月19日(水)から開通しました。開通に伴い、交通の流れが変化することが予測されますので、周辺の標識や看板に従って通行していただきますようお願いいたします。

また、引き続き広場整備や県道を含む周辺道路整備を行いますので、皆様には大変御迷惑をおかけしますが、御理解と御協力をお願いいたします。御不明な点等がありましたら下記まで御連絡ください。

問い合わせ：山口市都市整備課

(TEL 934-2773)



## 平成29年度山口市戦没者追悼式の開催について

日時：5月27日(土) 11時～

場所：山口南総合センター(名田島1218番地1)

※入場料は無料(供物料等は御遠慮ください。)

※事前の申し込みは不要です。当日10時50分までに会場にお越しください。

問い合わせ：市社会課

(TEL 934-2790)

大歳地区では、例年4月18日に開催していましたが大歳地区慰霊祭を取り止め、市による戦没者追悼式へ参画を促すこととしています。当日は現地までバスがでます。御遺族の方でバスを御利用される方は5月9日(水)までに申込をしてください。

申込：藤村 勉

(TEL 925-3888)

## 第40回大歳地区分館対抗 バレーボール大会開催!

大歳地区分館対抗バレーボール大会を維新百年記念公園スポーツ文化センターで開催します。地区内の親睦を深めつつ、ボールを追って気持ちの良い汗を流しましょう。一生懸命プレーする姿に御声援をお願いします。

日時：5月21日(日) 8時30分～

場所：維新百年記念公園

スポーツ文化センターアリーナ

主催：大歳体育振興会

問い合わせ：大歳体育振興会事務局

(大歳地域交流センター内)

(TEL 922-4035)



## 母推さんの子育て応援講座 ～おしゃべり茶話会～

風薫る季節、友だちづくりを始めてみませんか？

日時：5月10日（水）

10時～12時 ※受付9時30分～

内容：簡単おやつ作り、茶話会

対象者：乳幼児と保護者 先着15組（託児あり）

指導者：上杉照子さん

持参物：エプロン、子どもの飲み物

場所：大歳地域交流センター 2階 和室

申込：大歳地域交流センター

（TEL 922-4035）



※5月1日（月）から受付開始

## 男性料理教室 参加者募集！

### 今まで料理をしたことがない方も大歓迎！

食推さんと簡単な料理をみんなで楽しく作り、  
楽しく食べませんか？

日時：5月20日（土）

9時30分～12時30分

場所：大歳地域交流センター

参加費：200円

持参物：エプロン、三角巾

申込：大歳地域交流センター 先着15名

（TEL 922-4035）

※5月1日（月）から受付開始

- ・雑穀ごはん
- ・ポークピカタ
- ・さけるチーズとポテトのサラダ
- ・野菜のガーリックスープ
- ・コーヒーゼリー

## はっらっくクラブ 大人の居場所

会員制ではありませんので、どなたでも参加可能です。年間のメニューは大歳交流センターにあります。

日時：5月20日（土）

13時30分～15時30分

内容：☆ガンバルーンボールで遊ぼう！

※空気を減らしたボールで簡単な体操やゲームを行います。

☆銭太鼓に挑戦！

場所：大歳地域交流センター 2階 講堂

参加費：100円

問い合わせ：代表 大窪

（TEL 080-2904-8193）



## お花づくりをお手伝いください

おひとり住まいの高齢者の方へお配りするふれあい弁当（大歳地区社会福祉事業）に添えるペーパーフラワーを作ります。お手伝いいただける方は、大歳地域交流センターまでお越しください。

日時：5月22日（月） 10時～12時

5月29日（月） //

6月5日（月） //

場所：大歳地域交流センター 2階 講堂

持参物：工作はさみ、おしぼり

問い合わせ：大窪

（TEL 080-2904-8193）

※ふれあい弁当の掛け紙づくり（掛け紙の色塗り）を手伝ってくれる方も募集しています。興味のある方は御連絡ください。



## 子育てマナビィ受講生募集！ これであなたもお片づけ上手！親子で収納大作戦

どうしてうちの子は片づけをしてくれないの？！と悩んでいませんか？

親子で一緒に整理収納のコツや環境について学び、牛乳パックで鉛筆立てを作ってみましょう。また、子どもたちが普段使っている筆箱を実際に片づけてみましょう。

日時：5月13日（土） 10時～12時

場所：吉敷地域交流センター 1階 講堂

対象者：小学生と保護者 先着15組

持参物：子どもが普段使っている筆箱、のり、カッター

問い合わせ・申込：市社会教育課（TEL 934-2865）

講師紹介：整理収納アドバイザー 三浦 育美

愛媛大学を卒業後、幼稚園教諭・保育士として勤務されました。

2015年に整理収納アドバイザーの資格を取得、昨年お片づけ

laboratory.「YOUR-SiDE」を立ち上げられました。現在は子育ての傍ら、

お片づけに関する各種セミナーや講座、整理収納サポート事業などで活躍されています。

資格：整理収納教育士、ライフオーガナイザー2級、学校教諭1種免許、幼稚園教諭1種免許、保育士



## 大歳ひろめ隊 メンバー募集!

大歳ひろめ隊は、小学生中心のよさこいチームです。地区のまつり、ちょうちんまつり、白狐まつりなど市内のイベントに参加しています。

日時：毎週金曜日 19時～20時30分

場所：大歳地域交流センター 2階 講堂

会費：年3,600円

問い合わせ：代表 阿部

(TEL 920-1169)



## 第60回大歳地区分館対抗 ソフトボール大会開催!

大歳地区分館対抗ソフトボール大会を榎野川運動公園で開催します。地区内の親睦を深めつつ、日頃の練習の成果を十分に発揮し、優勝を目指しましょう!

ボールを追って一生懸命プレーする姿に御声援をお願いします。

日時：6月4日(日) 8時30分～

※雨天中止

場所：榎野川運動公園

主催：大歳体育振興会

問い合わせ：大歳体育振興会事務局

(大歳地域交流センター内)

(TEL 922-4035)



## みんなで参加しよう! 「チャレンジデー」 5月31日(水)は

チャレンジデーとは午前0時から午後9時までの間に15分以上継続してスポーツや運動を行った住民の「参加率(%)」を、人口規模がほぼ同じ自治体同士で競い合う、住民総参加型のスポーツイベントです。今回は東京都狛江市と対戦します。

### 参加するには?

5月31日(水)(午前0時～午後9時)、市内で15分以上体を動かし、集計センターに報告をだけです。特別、何かの大会などに登録・参加する必要はありません。散歩や徒歩での通勤・通学なども対象となります。

報告・問い合わせ：山口市チャレンジデー実行委員会事務局(スポーツ交流課内)

(TEL 934-2874)(FAX 934-2665) メール [challengeday@city.yamaguchi.lg.jp](mailto:challengeday@city.yamaguchi.lg.jp)

## ソフトペタンク教室を開催します!

チャレンジデー当日(5月31日)は、大歳地域交流センターにて定期利用団体「健脚教室」の皆さんとソフトペタンクを行います。どなたでも参加できますので、是非一緒にチャレンジしましょう!! たくさんの方のご参加お待ちしております。

日時：5月31日(水) 10:00～12:00

場所：大歳地域交流センター2階 講堂

※申込みは不要です。お気軽にご参加ください!

参加賞もあるよ!



# CHALLENGEDAY

## 【大歳地区5月の行事予定】

- 1日(月) 燃やせないごみの日
- 5日(金) ぶっくん来館日(15:20～16:00)
- 10日(水) 母推さんの子育て応援講座(10:00～12:00)
- 15日(月) 金属・小型家電製品の日
- 19日(金) パソコン相談(10:00～12:00)
- 19日(金) ぶっくん来館日(15:20～16:00)
- 20日(土) 食推さんの男性料理教室(9:30～12:30)
- 20日(土) 大人の居場所(13:30～15:30)
- 21日(日) 第40回大歳地区分館対抗バレーボール大会



- 22日(月) お花づくり(10:00～12:00)
- 22日(月) 古紙ペットボトル分別収集(大歳①)
- 24日(水) びん・缶の日
- 26日(金) 太陽クラブ(10:00～13:00)
- 29日(月) お花づくり(10:00～12:00)
- 29日(月) 古紙ペットボトル分別収集(大歳②)
- 31日(水) チャレンジデー「ソフトペタンク教室」  
※木曜日はプラ容器包装分別収集



## 黒川市 その2

### — その変転するところ：維新の只中で —

黒川市は、江戸時代の初期から伝馬を置いて公用や商人の書状・荷物を運送する「宿駅」として稼働していましたが、歴史上その存在が顕著になるのは幕末の山口移鎮（イチン）以後です。山口移鎮とは、幕末の緊迫した状況の中で、萩の辺境では政治上或いは防衛上適切ではないとの理由で、1863年（文久3年）藩庁を萩から山口へ移転したことです。このことによって、秘密の漏洩や間者の侵入を恐れた藩は、守りを固めるため藩庁へ通じる、宮野・一の坂・鎧峠・陶峠・千切峠・吉敷大峠・勝坂鯖山・小郡柳井田に関門を築き、監視員を置いて、無許可で外国人が山口に入ることを禁止しました。この「山口封鎖」で、石州街道の様相は一変することになりました。外国人が激減するのは対照的に、領内の人々は行政の中心地となった山口へ、足繁く行き来することになったのです。各宰判への指令は山口から送られ、報告や嘆願は山口へと集められました。下関での攘夷戦を前にして、下関・吉田・船木・小郡から、黒川市を通過する山口への道を、急使はひた走ったのです。1864年（元治元年）9月、外国艦隊襲来や長州征伐軍の侵攻に備えて、上司への迅速な通達を確保するため、領内に「続飛脚」体制が構築されました。それは一里から一里半ごとに人馬の交換ができる継場（ツギバ）を設置するというものでした。小郡から山口までの石州街道は約3里、その中間に位置したのが、重要な継場であった黒川宿でした。ただこの未曾有の通行増大への対応は、困難を極めました。そこで人夫や伝馬への増恩米を願い出たのです。文久3年9月から慶応2年8月までの3年間、米15石8升の支給が認められました。その願いは、慶応4年まで延長されることになりました。人夫23人、伝馬12疋も農家との併用ではなく、独自に常駐することになったのです。

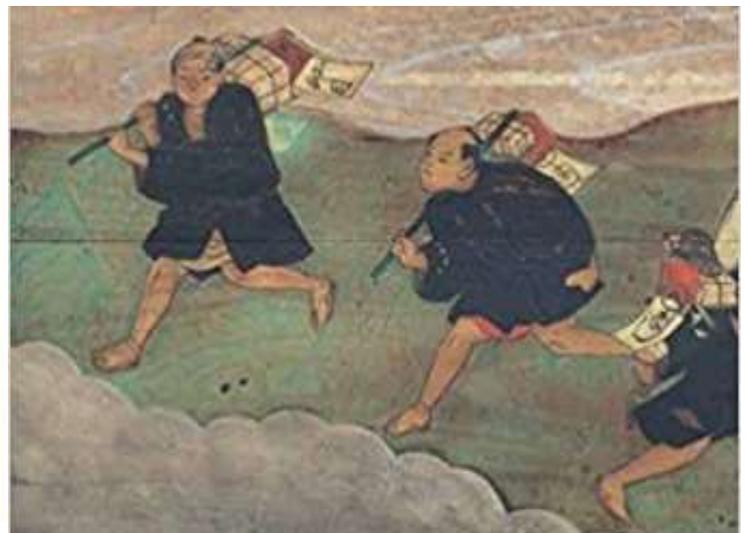
この当時の黒川宿は、外国人の通行封鎖により、商人やその荷物の通行は減少しましたが、代官等の諸役人、急飛脚、長府や清末といった支藩主の行列など公用通行は増加しました。それは黒川宿にとって、維新の激動を肌で感じ、慌ただしく困難を極めた一時期でした。何故なら、激減した一般人からの収入はほとんどなく、公用通行の人馬賃金は、無賃だったのです。その苦しさは並大抵ではなかったでしょう。

来月号に続きます。

（大歳史談会 文責：黒田五郎）



継場の風景、『MIT Visualizing Culture』より転写



当時の飛脚、『江戸の飛脚』より転写